



ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
こども育成課
～街とともに 未来を育む 人づくり～

『「新しい児童会館」を考えるワークショップ』



私たち(小学生・中学生・高校生)が描く児童会館

札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、子どもたちが児童会館の運営等に参加し、自分たちの意見を反映できる仕組みを通じて主体的に参画できる環境づくりや子どもたちの活動サポートを児童会館で実施しています。今回は、子どもの意見参画として札幌市清田児童会館にて実施しました『「新しい児童会館」を考えるワークショップ』の様子をお伝えします。



前半は、日常的にボランティア活動をする清田高校を中心とした高校生がグループファシリテータを務め、ラベルワークで意見を出し合います。

8月9日(金)に、清田児童会館の再整備(改築)の予定が示されていることに伴い、日頃利用している子どもたちの声を聴き、児童会館の設計に意見を反映させることを目的に行いました。当日は小学生から高校生まで 87 名が参加しました。

「今楽しい、未来も楽しい、子どもたちはもちろん地域の方々も来なくなる児童会館」をテーマに、前半は小学生を中心としたグループに分かれ自由に意見を出し合い、後半は、札幌市子ども未来局をはじめとする関係部局職員や設計事務所のみなさんを交えて、前半に出た意見をもとに中学生・高校生と大人によるクロストークを展開しました。



後半のクロストークでは、みんなの意見をどう実現する?地域にとって児童会館って何だろう?活発に意見と交わしあいブラッシュアップさせます。

札幌市子ども未来局職員から、「皆さんが出してくれた意見は全て受け止めます!」とコメントを頂き、その言葉に子どもたちの顔が輝いていました。思いを受け止め、今度は、子どもたちの意見を託された大人が真摯に意見と向き合い、みんなの「新しい児童会館」に向けて骨組みを組んでいきます。

「未来を生きる子どもを人とのつながりと地域のなかで育てていく」

このワークショップから清田地区の子育て地域拠点である札幌市清田児童会館の未来を「子どもと大人、そして地域とともに創っていく一歩」がスタートしました。今後の経過、参画の様子についても適宜お知らせしていきます。

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、子どもたちの意見表明力形成には年齢や発達の数に応じ、多様な活動に参画する機会を得ることが大切だと考えています。子どもが安心して自分の声をあげることができ、その声を受けとめ、つなげることができる環境、人、地域づくりに日々取り組んでいきます。



<(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、札幌エルプラザ公共4施設、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおして、「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.or.jp TEL011-671-4121
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
<HP アドレス> <http://g-kan.syaa.or.jp>

